

山縣市（北部地域）の保育のあり方と地域のかかわりについての検討

山縣市においては、人口減少、出生数の減少傾向が続いています。市内全体のこどもの人口が減少することにより、（特に北部の）保育園においては経営の小規模化が懸念されています。

こうした子育て環境の影響もあり、子育て世代を含む若年層は市内南部へ移住したり、市外への転出が続いており、地域経済の担い手が地域から失われ、それによって地域の商店街や地場産業の衰退に拍車をかけている状況となっています。

子育て世代等の定住による雇用人材の確保維持や、地域の商店街等の振興を目指すために、地域資源を活用した保育園を地域全体で支える魅力ある子育て環境をつくり、継続していくことの検討が必要であると考えています。

地域にとって効果的な利活用ができる施設、地域外からも魅力を感じる施設への移行

地域のこどもたちの未来のために、魅力的な子育て環境をつくることによって、地域住民、企業（個人事業主等）が一体となり持続的な地域を形成

子育て環境の
改善

地域の自然体験を推進しこどもたちの豊かな成長を促す環境を整える

地域コミュニティ
の活性化

魅力ある保育を通じて若者が定着する持続可能な地域を目指す

地域企業の地域
への参画

地域内での持続的な雇用創出と企業の社会貢献・SDGs活動の強化

